

# 第12回放射線計測専門家会合について

(創立45周年記念事業)

公益財団法人放射線計測協会 事業推進部 研修・普及グループ

放射線計測協会では、放射線計測に係る知識普及活動として放射線計測専門家会合を開催しています。今回（第12回）は、当協会が昨年10月に創立45周年を迎えたことから、その記念事業の一環として、「放射線計測・校正の今昔と今後」をテーマに、以下のプログラムで、令和8年2月13日に開催しました。

開会挨拶：理事長 三浦幸俊

## 1. 放射線計測協会の歴史

(公財)放射線計測協会 専務理事 吉澤道夫

講演資料

## 2. 校正施設の変遷

(1) 放射線関連の国家標準施設の歴史 講演資料

(国研)産業技術総合研究所 黒澤忠弘

(2) 放射線標準施設 (FRS) の歴史 講演資料

(国研)日本原子力研究開発機構 谷村嘉彦

## 3. 放射線測定器・個人線量計の変遷

(1) 放射線測定器の変遷 講演資料

(公財)原子力安全研究協会 松原昌平

(2) 受動形個人線量計の歴史 講演資料

個人線量測定機関協議会 壽藤紀道

## 4. 中性子計測について

東北大学名誉教授 中村尚司

## 5. 総合討論

全体概要は、中村議長に巻頭言として寄稿いただきましたので、ここでは補足する情報を紹介します。

会場には議長および幹事を含む委員16名とオブザーバー1名が参加し、オンラインでは委員4名、関係機関からの参加者47名、当協会理事長および事務局代表が出席し、対面・オンライン併用により開催されました。

最初に、三浦理事長より開会の挨拶があり、創

立45周年を迎えることができたことへの感謝と会合の趣旨と期待が述べられました。

1. 放射線計測協会の歴史では、協会設立の趣意と45年の歩みの総括的な報告後、協会の今後の役割について意見を求める提起がなされました。

2. 校正施設の変遷と3. 放射線測定器・個人線量計の変遷に関する4つの講演では、昔の写真を多く使って、校正施設と放射線測定器・個人線量計の技術的変遷が大変わかりやすく紹介されました。

4. 中性子計測については、中村議長が共著者とともに昨年上梓された書籍の紹介を通じて、これまでの中性子計測研究について講演されました。

最後の総合討論については、巻頭言のとおりです。

各講演資料は、当協会のホームページ (<https://www.irm.or.jp/>) よりご覧いただけます。

これらの講演のうち、放射線標準施設 (FRS) の歴史については、放計協ニュース前号 (No.76) に掲載されています。本号では、それ以外の3つの講演について、内容を再編して掲載します。

本会合を通じて、放射線計測の信頼性確保が安全・安心の基盤であることが改めて共有されるとともに、今後の技術継承や関係機関の連携の重要性が確認されました。

